

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.59)

◎PCB 廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から令和元年9月30日までの処理実績は下表のとおりです。

処理状況 対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,675台（98%）	1,225台（98%）
コンデンサ類	78,955台（97%）	14,083台（92%）
PCB油類	1,726本（94%）	624本（96%）

※登録台数は平成31年3月31日現在の数値。

◎PCB 廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催について

9月9日、第33回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査：酒井伸一京都大学環境科学センター長）を開催しました。

今回は、「大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況」や「事業所の長期保全の取り組み」等についてご報告しました。

操業状況については、トランス・コンデンサ類の処理進捗状況のほか、環境モニタリング・緊急時訓練の実施状況、掘り起こし・総ざらい活動、処理手間物への取り組み状況、長期保全の取り組みについては、設備点検・改善状況等をご報告しました。

委員からは、掘り起こし・総ざらい活動について、保管事業者に対し、中部近畿産業保安監督部や関係府県市等と連携し、早期処理に取り組むよう、また、安定器などの処理を行っている北九州 PCB 処理事業所との連携について、ご助言をいただきました。

当事業所では、今後も、引き続き本事業部会での有識者のご意見等を踏まえ、安全・確実な処理を進めてまいります。



◎安全教育について

9月19日の安全教育では、「火災が発生したら」という大きなテーマの中で「自動火災報知器が作動したら」、「現場パトロールで発見したら」などについて講義を行いました。現場パトロール時の火災発見では、消火器の位置など関連作業マニュアル等の手順を確認しておくことの重要性を説明しました。

あらためて所員一人一人が、火災が発生したときの心構えを認識しました。



◎高濃度 PCB 廃棄物の早期処理に向けた活動について

関係府県市では、各管内における未処理のPCB使用製品やPCB廃棄物を網羅的に把握するための掘り起こし作業が続けられており、これと並行して、関係機関が協力しPCBの早期処理を促進するための説明会を開催しています。

7月には、一般社団法人日本電気協会等が主催する「令和元年度電気使用安全月間説明会」において、中部近畿産業保安監督部近畿支部や関係府県市及び当事業所が協力して、高濃度PCB廃棄物の早期登録、早期処理を働きかけました。11会場で開催し、約2,000名の方に参加いただきました。



また、一般財団法人関西電気保安協会が主催する「電気講習会」においても、滋賀支店が7月に3会場、大阪南支店が7・8月に3会場（10月に2会場で開催予定）で、当事業所が協力して、高濃度PCB廃棄物の早期登録、早期処理を働きかけました。

今後とも、関係府県市及び電気に関係する機関などと協力して、高濃度PCB廃棄物の早期処理を着実に進めてまいります。

◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、令和元年9月30日現在で11,429名（1,473団体）となっています。今年の7月から9月までの見学者数は、次に示す皆様をはじめ、計132名（12団体）でした。

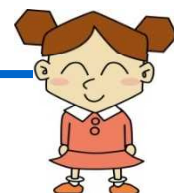
- 7月 4日 京都府内の電気工事業者の皆様 (31名)
- 8月28日 京都で開催されたダイオキシン類国際会議に参加された海外の皆様 (49名)



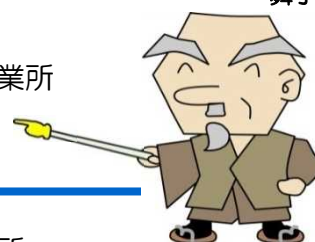
洲男（しまお） ☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

- 当社のホームページをご参照下さい。また、予約見学時は総務課へご連絡下さい。
- ・自由見学：西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
 - ・予約見学：西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪PCB処理事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：<https://www.jesconet.co.jp>



舞子（まいこ）



べん蔵（べんぞう）



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業（株） 大阪PCB処理事業所
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575